

平成22年度第4回 落合第一地区協議会の概要

日 時	平成22年7月6日(火) 午後7時00分～9時00分
場 所	落合第一地域センター3階 集会室
出席者	委 員 26名 特別出張所: 山本所長、佐藤副所長、新川主査、関口まちづくり活動支援員
協議内容	1. 代表挨拶 2. 議 事 1) 地区協議会連絡会の報告 2) 団体推薦委員の変更について 3) 平成22年度地区協議会まちづくり活動計画と予算について 4) 自治基本条例区民検討会議報告 5) 各PTからの報告 6) その他の課題について 7) 地区協議会の進め方について 8) その他
配付資料	平成22年度第4回落合第一地区協議会次第 第8回地区協議会連絡会 次第 落合第一地区協議会 団体推薦委員名簿 平成22年度 地区協議会まちづくり活動計画書(総括表) 平成22年度 地区協議会まちづくり活動計画書 平成22年度第2回「広報PT」会議概要 「みどりの風」かわら版について 平成21年度 区政モニターアンケート 目次 平成21年度 新宿区区民意識調査 目次 大西律子 プロフィール 平成22年度第2回「ふるさと落合PT」会議概要 平成22年度第2回「安全・安心」会議概要 平成22年度第2回「みどり・環境PT」会議概要 落合第一地区協議会の進め方について 新宿エコライフまつり2010 新宿一斉消灯日 新宿区自治基本条例検討連絡会、検討連絡会 資料一式

1 代表挨拶

- ・ 先日、地区協議会連絡会に初めて参加した。後ほど、その報告をさせていただく。
- ・ 本日は傍聴の方が2名いらっしゃってるので、落一地区協がこんなことをやっているというのをじっくりと見て頂きたい。

2 議 事

1) 第8回地区協議会連絡会の報告

- ・ 地区協の課題・問題点として、「地区協の位置づけや方向性が定まっていない」、「地区協自体がバラバラ」、「各地区協の方向性が分からない」、「地区協はいらないのではないか」、「自治基本条例の文言を分かりやすくできないか」、という意見が出た。
- ・ 会則の改正について提案があったが、「縛りが厳しい」などの意見があり、先送りとなった。
- ・ 各地区協から、昨年度の事業報告と、今年度予算案の報告があった。
- ・ 連絡会に出席した感想としては、連絡会自体が覚束ないという感じがした。地区協がしっかりと位置づけられ、方向性を見出すのは困難なのではないかと感じた。

2) 団体推薦委員の変更について

- ・ 配付資料 参照
- ・ 落一地区町会連合会の役割分担変更に伴い、下記推薦団体の委員に変更があった。
 落一日赤分団・・・村上雄三委員 浅見幹夫委員
 防火防災協力会・・・斉藤博委員 前田昇委員

3) 平成22年度地区協議会まちづくり活動計画と予算について

- ・ 配付資料 、 のとおり区に申請したところ、満額で許可がありた事を報告する。

4) 自治基本条例区民検討会議報告

- ・ 現在、区民検討会議では、「外国人」「暮らし方の多様性」「安全安心」「教育」「子ども」についての討議が終わったところ。
- ・ 6/19、20に、区民討議会を開催した。参加者は、無作為に選ばれた区民の方々60名。内容については、配付資料 の「みんなで考えよう、新宿区のあした！」参照。
- ・ 区民討議会の後は、パブリックコメントで区民の皆さんのご意見を頂く。また、無作為抽出した2,500名の方に「区民アンケート」を実施した結果が徐々に返ってきている。現在、回答を集計中。8月には地域懇談会を開催する。これは区民・議会・行政の代表が集まり、牛込・筆筒・四谷・戸塚で開催する。
- ・ 現在、検討連絡会で討議されている内容は、配布資料 「第35回(仮称)新宿区自治基本条例検討連絡会議」のP17～P36に記載されている。委員の皆さんには、P36の「地域自治」について書かれた部分を読んで頂き、ご意見を頂きたい。

質問1

P36「地域自治」についての に、「区民は、地域自治区ごとに地域自治組織を置くことができる。」とあるが、これは、現在ある地区協をリセットし、新しい自治組織を地域自治区ごとに置くのは自由という事か。

回答1

その通り。この地域自治組織は役所が作るものではなく、自分達で作る組織なので、地域によっては出来ない所もあるという意味が含まれている。しかし、実際にそうなった場合、区全体としてはどうするのか、という問題もあるので、今後議論される事になると思う。

質問2

一度、地区協を無くすという事か。

回答2

議論の中では、地区協を無くしてゼロから考えようという意見が多々あるが、個人的な考えとしては、今地区協があるのだから、ある事を前提として考えていきたいと思っている。

質問3

自治に関して、地区協を取り上げ、存続するのかどうかという議論をされてきたと思うが、今の地区協のあり方は、地域自治の組織として成り立つのか。つまり、行政から100%の支援をもらって運営している地区協の形態が、地域自治になるのか。

回答3

地区協は、税金を使う団体という事が一つの大きな問題になると思う。それに対する正当性と代表性をどのように担保するのか、というのは考えなければならない事。地区協は、要綱で出来たとは言え、今日まで活動してきているのであるから、正当性はあると言える。これが条例で出来たとなれば、団体の重みが違ってくる。その場合、代表性の裏づけが必要になる。自分達で勝手に活動しているのではなく、地域の人々が望んでいる活動をしなければならない。その辺りの事を考えると、現実にはやっている事と、やらなければならない事の違いが浮き彫りになってくる。その辺りを考え、条例に則する地域自治組織を作らなければならないと思う。

質問4

それが、今の地区協のあり方の延長線上にあると思っている、ということか。

回答4

その通り。その為にはどうすべきかを考えないといけないという事。

5) 各PTからの報告

広報PT (配付資料 参照)

【方針について】

- ・ 前回の全体会で、委員の皆さんから沢山のご意見を頂いた。それを踏まえ、広報PTの方針を練り直した。

方針1	プロジェクト別のPR支援を検討
方針2	地区協議会全体を一般に理解していただく為の広報を行なう。 ・いつでも配布できるような、地区協の概要を示したコンパクトなカードを作成する
方針3	「みどりの風 かわら版」を毎月1回発行する。 詳細は配付資料 参照
方針4	広聴活動に力を入れていく。 ・区の「住民意識調査」と「区政モニターアンケートの落一出張所区分のデータ開示を求める。 ・地域住民が関心を持っているテーマの講演会、学習会を開催して人を集め、そこで地域の方々の声を聞く為のアンケートをとる。

方針2について

- ・ コンパクトカードは、地区協議会とは何か、岡田新体制のメンバーや方針が一目で理解できるもので、2年間通用するものとする。
- ・ コンパクトカードを作成する事になった場合、「みどりの風」4ページ版は今年度は廃止とする。「みどりの風 かわら版」を月1で発行する事で、地区協の情報をタイムリーに発信していく。

方針4について

- ・ 配付資料 から、「震災に備えて」「安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち」、配付資料 から、「生活における心配事」「区政への要望」について開示を求める。

【第1回学習会開催の提案】

- ・ 承認いただければ、具体的に進め、8月末～9月に開催したい。
テーマ(案):地域課題とは???～どう見つけるの?どう解決するの?～
講師案(案):大西律子 (目白大学社会学部地域社会学科教授) 配付資料 参照

【各PTと広報PTの連携について】

- ・ 各PTから広報担当を出して頂き、「みどりの風」と「みどりの風 かわら版」発行のための企画会議や編集会議に出席していただく。
- ・ プロジェクト毎に年間のPRプランを作成する。月末の企画会議で、各PTの広報担当と一緒に各PTのPR支援案を考える。

【その他】

前回の全体会后に、イベント数が多いのではないかと、というご意見を頂いた。それを踏まえ、区の職員との意見交換会については様子を見ることとし、方針から外した。

質問1

学習会は、地区協のメンバーを対象にするのか、外部にも向けるのか。

回答1

両方。

質問2

これまでの「みどりの風」を「かわら版」にするというのは、この全体会で決めるのか。
また、かわら版への記載内容について、前回の全体会では、地域住民の方々から投稿いただくという報告だったが、今回の報告では地区協だけの情報を載せるという事か。
区政モニターがどれ程の人数いて、その中で落一がどの程度の人数なのか伺いたい。ごく一部の数の意見だとしたら、地区協にとって参考データになるのか疑問。

回答2

「みどりの風 かわら版」を発行する事については、この全体会で承認を頂いて決める。
かわら版の記載内容は、あくまでも地区協のPR情報をメインとする。記事が何も無い場合、

地区協推薦団体の記事を書ける事もあり得るかもしれないが、その際も全体会で協議する。区政モニターの数などについては、今、正確な数字は分からないが、広聴課と話をしたところ、出張所ごとに客観的にサンプリングしているという事なので、その客観性はある程度信用できると思う。

質問3

かわら版に掲載する記事は、300字以内とあるが、300字のものが果たして読んでもらえるのか疑問。毎月発行するものなので、読んでもらえるような工夫が必要ではないか。

回答4

いかに共感できる内容で、いかに分かりやすくするかが重要だと思うので、頂いたご意見を踏まえて考えていきたい。

質問4

毎月1回のかわら版を発行するのは非常に良いことだと思うが、スケジュールが疑問。15日までに原稿を揃え、25日に発行となると、その間にPT会議が無いところは原稿が書けないのではないか。そのあたりの日程を再考する必要はないか。

回答5

恐らく、毎月20日前後が企画会議になり、そこでどういった事を書けようという事についてある程度の合意ができると思う。その後全体会で決定し、15日に原稿提出となれば、約1ヶ月の期間があるので、スケジュールにはそんなに問題はないと思う。

意見1

スケジュールについては、各PTリーダーの意見を聞いてみた方がよい。

意見2

ふるさと落合では、編集作業を進める中で、広報誌に毎月掲載する記事がないと思う。

意見2に対する回答

全部のPTの記事を毎月掲載するわけではないので、そのあたりは問題ないと思う。

意見3

盛りだくさんな内容を提案されているが、少し様子を見てはどうか。スタート段階はかわら版を隔月にするなどして、少し余裕をもって進めていってはどうか。

意見3に対する回答

A4 1枚のものなので、実現の可能性としては問題ないと思うが、頂いたご意見を踏まえて、隔月での発行ということも入れて再検討したい。

質問5

「みどりの風 かわら版」はカラー印刷なのか。また、毎月の企画会議に各PTの広報担当が参加するという事だが、少しゆるやかにして、記事に掲載するPTだけが参加するとか、必要だったら出てもらうとしてはどうか。

回答5

カラー印刷にする。また、毎月の企画会議への参加については、必ずということではなく、フレキシブルに対応していきたい。

意見4

毎月発行するのは大変だと思うが、毎月発行するという記事の新鮮さが大切だと思う。A4用紙がびっしり埋まってなくても、毎月発行する努力はした方がよいと思う。そうすると、掲示板の貼る場所も決まってくると思う。

質問6

掲示板に貼るのに、町連の許可は必要ないのか。

回答6

町連の会議で、かわら版を掲示するスペースをいただけるようお願いする。

質問7

学習会の講師候補の方の専門分野の実績を知りたい。学習会の講師は、実際に現場の実績がある人の方がよいのではないか。学校の先生というのは現場を知らないという印象が強いので、講師はもっと情報収集をしたうえで決めた方がよい。

回答7

今回のテーマは、「地域課題をどう見つけ、どう解決していくか」。講師を選ぶにあたり、交通費の面も考え、新宿区にある大学の講師の先生の中から、このテーマで講演をできそうな方を探したがあまりいなかった。大西先生は、現場の方々と実際に活動をしている方ではあるが、もっと探した方がよいのであれば、次回の全体会までに、委員の皆様にも探して頂きたい。

< 決定事項 >

「みどりの風 かわら版」の発行、PRカードの発行、学習会の開催については継続審議。
情報開示については承認。

ふるさと落合PT (配付資料 参照)

- ・ DVDを100枚作成し、配付資料 に記載の通り配付する。残ったDVDについては、事務局管理とし、2週間を目途に貸出しをする。
- ・ 小・中学校にも配付をするので、さらに内容を分かり易くするための編集作業を行ない、秋頃完成予定。

意見1

地区協内でのDVDの上映会を、年内に2回程度実施し、委員全員が1回は見られるように段取りをお願いしたい。

質問1

このDVDは、どのような人に一番見てほしいのか。

回答1

古き良き時代の落合を次世代に遺すというのが一つの目的なので、小・中学生に見て欲しい。

安全・安心PT (配付資料 参照)

- ・ 7/12(月)に、無灯火防止啓発キャンペーンを実施するのでご協力頂きたい。
- ・ 現在、聖母大学が建替え工事をしているので、この機会にそこだけでも無電柱化できないかとの意見が出た。8月の全体会で区の道路課職員に経過説明に来ていただきたい。
- ・ 新目白通りの無電柱化の工事が7月から始まるが、それに対する説明会がされていない。都の第三建設事務所の方に来て頂き、7/29のPT会議の中で説明会を開催したい。
- ・ 落一地区内に設置されている消火器に、番地を記載してはどうかという案が出ていたので、設置場所の調査をしたところ、430ヶ所と非常に多かったので、PTで再検討したい。

< 決定事項 >

- ・ 8月の全体会で、聖母坂の無電柱化についての経過説明を、区の道路課にしていただく。
- ・ 新目白通りの無電柱化について、7/29に都の第三建設事務所から説明をしていただく。

みどり・環境PT (配付資料 参照)

- ・ 前回の全体会で、みどり・環境PTの事業計画が承認されたので、その事業計画をより具体的にすべく議論を行なった。各委員から様々な意見が出たが、結論を出すには至らなかった。
- ・ みどり・環境PT会議は、毎月第4火曜日 19時～21時を定例とすることと決まった。

6) その他の課題について

- ・ 中央図書館移転については、この地域にとって大事な問題だと思うので、全体会で取組む事を提案したい。7/15～8/11まで、新宿区新中央図書館等基本計画についてのパブリックコメントが始まる。また、7月末と8月初めに住民説明会があるとの事なので、地区協の中からも多くの委員が参加するとよいと思う。

事務局より

現中央図書館がコズミックセンターの近くに移転する事は既に決定した事。パブリックコメントは、新中央図書館の方向性についてという事でご意見を募る事になると思う。落一地区協として議論するのは、現中央図書館が移転した後、そこをどうするかという事ではないかと思う。現段階では、移転した後の現中央図書館をどうするかは全く決まっていない。ただ、耐震が

施されていない建物なので、取壊すか、耐震補強工事等をするのだと思うが、それについても決まっていない。中央図書館跡地活用については、区でもまだ検討が始まっていないので、検討が始まる前に、地区協で要望書を出すのは一つの手だと思う。

意見1

中央図書館跡地をどうしたいかについて、みどり・環境PTでたたき台を作って、次回の全体会に提案するというのではどうか。

質問1

現中央図書館移転の話は、そもそもは建物が老朽化したことが理由か。

回答1

耐震が施されていない事が理由。現中央図書館の耐震補強工事は、恐らく無理なのではないかとの話もある。移転後は、建替え工事をする事になると思う。

質問2

建替え後の建物を図書館にすることは、予算の面から考えても可能な事か。

回答2

建替え後、そこにどんな施設を入れるかという事は、図書館の移転がある程度落ち着いた段階から考え始める事になると思う。現段階では、そこにどんな施設を入れるかという話を一切していないので、予算的に可能かどうかという議論ができるところまでいっていない。要望があれば、可能と考えて頂いて構わないと思う。

意見2

移転後の跡地については、図書館にこだわらず、地域に何が必要かという事を考えて要望を出していったら良いのではないかと思う。

< 決定事項 >

みどり・環境PTでたたき台をつかって、次回の全体会で提案する。

7) 地区協議会の進め方について

- ・ この議題は、次回の全体会次第の上位に置く事とする。